

追悼

故 及川 健二 会員 (33期)

2015年12月18日逝去・63歳

2002年度 東京弁護士会 副会長

2006年 日本司法支援センター
～2009年 東京地方事務所 事務局長

2011年度 関東弁護士会連合会 副理事長



会務に捧げた弁護士人生

～及川健二さんを偲ぶ

会員 藤原 浩 (33期)

及川さんは、明治大学出身の33期。明るい性格で、みんなに好かれ、同期会やクラス会ではいつも世話役を務めていた。そんな及川さんが、昨年8月に登別で開催された33期の35周年を欠席した。元教官や多くの同期の仲間から、及川さんはどうしたのかと質問された。私は「及川さんは、少し体調を崩し、夜の会合や旅行などの参加は控えている。弁護士会には顔を出しているので、大丈夫でしょう」と答え、私自身も及川さんが早晩回復されるものと信じて疑わなかった。ところが、年末に至り、及川さんが逝去されたとの訃報に接した。あまりにも突然のことで、「嘘だろう」と叫んでしまった。

及川さんが肺癌という大きな病と闘っていたことは全く知らなかった。弁護士会で会ったときも、及川さんはいつものとおり、明るく振る舞っていたのに…。

2000年8月、京都で開催された33期の20周年では、私は、及川さん、栗原周成会員と一緒にクラス幹事を務めた。ゴルフ大会では、及川さん、菊地裕太郎会員、吉峯康博会員と猛暑の中で楽しくプレーをした。あの頃はみんな元気で希望に溢れていた。このときにクラスで作成したアンケートが残されている。及川さんは、趣味はゴルフ(趣味というより特技)と答えた上、「手帳を開くと1週間のうち法廷が1件なのに、会務で弁護士会

に行くのが5日間というのが度々あり、我ながら愕然とした。皆さん本業を大事にしましょう」と会務に忙殺される弁護士生活を自省的に紹介している。しかし、その後も弁護士会は、及川さんに本業に専念することを許さなかった。

及川さんは、2002年に東弁副会長、2006年6月からの約3年間は、法テラス東京地方事務所常勤の事務局長となった。スタート当初の法テラスには多くの課題があり、事務局長は大変な激職であった。その後、2009年4月に弁護士会に復帰後も、東弁の懲戒委員会、紛争処理センター運営委員会等で中心的に活躍するとともに、法曹親和会の事務総長として会派活動にも専念された。2011年には関弁連副理事長に就任し、原子力損害賠償紛争解決センター仲介委員も務めた。2012年には法曹大同会の幹事長となり、法曹大同会創設100周年の記念事業という重責を見事に果たされた。その後に体調を崩された後も、及川さんは病氣と闘いながら、東弁だけでなく、日弁連のADRセンター、リーガル・アクセス・センターなど多くの会務活動を継続された。及川さんは最後まで「会務に参加するのは弁護士としての公的な義務なのだ」と語り、病を押して委員会に出席したそうである。

及川さんは、法曹界、弁護士会のために十分すぎるほど働いてきた。及川さん、本当にありがとうございます。ご冥福をお祈りします。